

社会から

# 「どうせ無理」をなくしたい

植松電機の社員はたった**20**人。  
 その**20**人が、本業もやると同時に、  
 全く関係性のない宇宙開発をする。  
 どうやったら、そんなことができるのか？



株式会社 植松電機  
 代表取締役 植松 努氏

YouTubeで再生回数200万回超え、北海道の町工場から宇宙開発に挑む！  
 経営者、人材教育に関わっている方、部下を持つ管理者、子供がいる親、など  
 誰にでも学びがあるセミナーです。

2017年 **5月26日** **金** 仙台銀行本店ビル 9F講堂  
 (仙台市青葉区一番町2-1-1)  
 駐車場はお近くの有料駐車場をご利用下さい。  
**15:00~16:30** (受付14:30~)

**定員** 50名 (先着順となります。)

**参加費** 無料 / 非会員様は1企業2名様まで参加費無料

**対象者** 仙台銀行の取引企業様 全業種の方対象  
 経営者、人材教育に関わっている方、部下を持つ管理者・従業員の方

**申込締切** **2017年5月19日(金)**

**申込方法** 裏面にご記入の上、FAX(022-225-4636)または、  
 仙台銀行ビジネスクラブホームページ (<https://sbc.sendaibank.co.jp/>)よりお申込下さい。

お問合せ

仙台銀行ビジネスクラブ事務局 ☎022-225-8677



植松 努 (うえまつ つとむ)

## こんな方におすすめです！

- ◆ 社員や部下の可能性や能力を最大限に伸ばし活用したい方。
- ◆ 自分の可能性をさらに広げ、チャレンジングな人生を生きたい方。
- ◆ 事業を通じてさらに社会で役立ちたい方。
- ◆ まわりが自分のビジョンを理解してくれない中で、信念を貫きたい方。
- ◆ 職場で夢にチャレンジする若い社員を育てる役割のある方。

1966(昭和41)年北海道芦別市生まれ。89年北見工大応用機械工学科卒業後、菱友計算株式会社航空宇宙統括部に入社。94年5月同社を退社し、父(植松清)が経営する植松電機入社。産業廃棄物からの徐鉄、選鉄に使う電磁石の開発製作に成功。99年に植松電機を株式会社へ改組し専務取締役役に就任。2016年8月、代表取締役役に就任する。

北海道の小さな町工場でありながら、宇宙開発事業を展開し、自家製ロケットを打ち上げ、世界に3箇所しかない無重力状態を作り出す実験装置があり、世界中から見学者が集まる。夢や目標を語る人々に対し、「どうせ無理だ」と簡単に決めつけてしまう人がいます。植松努氏は、この言葉が多くの人から自信や可能性を奪っているといいます。周囲から無理だと言われながらも、民間での宇宙開発に挑み続ける同氏が語る、自信の育て方とは?全国各地での講演やモデルロケット教室を通じて、人の可能性を奪う言葉である「どうせ無理」を無くし、夢を諦めない事の大切さを伝える活動をしている。

## 経営者セミナー 第1回 社長のセミナー

**FAX 022-225-4636**

5月26日(金)開催

## 参加申込書兼受講票

※下記にご記入の上、FAXでお申込み下さい。当日こちらが受講票となりますので、この参加申込書をお持ち下さい。

会社名			
住所			
業種	お取引店	仙台銀行	支店
電話			
FAX			
参加者名	(お役職)	お名前	
	(お役職)	お名前	

※当日はこの受講票または、お名刺をご持参下さい。(受講票は改めてお送りいたしませんのでご了承下さい。)  
※ご記入いただきました内容は、本セミナーの実施目的以外には一切使用いたしません。

◆ 申込み締切日 / 5月19日(金)



会場

### 仙台銀行本店ビル 9F講堂

(仙台市青葉区一番町2-1-1)  
駐車場はお近くの有料駐車場をご利用下さい。

講演時間

15:00~16:30 (受付14:30~)

主催 仙台銀行ビジネスクラブ